# 基本方針

令和5年度は新たな10年の経営計画の1年目となる。

感染症拡大の影響を受け十分な事業活動が行えなかった状況から、令和４年度には施設利用者数や事業参加者数の増加、3年ぶりに新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンをコースを拡張して実施するなど、事業活動を再開し、区民に対して新たな活動の場を提供できる状況となっている。

こうした状況を踏まえ、経営計画策定にあたっては、財団の存在価値を高めるため経営理念を更新した。

今後10年で予想される社会環境や区民ニーズの変化に柔軟かつ的確に対応し、区民一人ひとりと地域全体が共に発展していく社会の実現のために、新たな経営理念としての財団の使命を「私たちは、区民のベストパートナーとして、活力ある『地域共生社会』を創造します。」と定めている。

さらに、4つの目標「区民に最も身近で、総合的な情報を発信し続ける組織であること」、「誰もが参加・参画できる『支え合いの輪』を地域全体に広げること」、「常に新たな時代に相応しい付加価値を区民に対し提供し続けること」、「職員自ら実感し、調べ、考え、改革する自己変革力を最大の強みとする組織であること」を掲げた。

この計画を受け、令和 5 年度は下記の5点を基本方針として予算及び事業計画を策定する。

1. 経営計画の着実な実施
2. 事業参加者や施設利用者数を感染症拡大以前に戻し、より多くの区民に生涯学習の場を提供し、財団を身近に感じてもらうための契機とするためのイベント、事業、利用者サービスの拡充
3. 財団の総合力・機動力を十二分に発揮した新規区民還元事業、区民参画事業の実施
4. 感染症拡大下において培ってきたオンライン技術・ICT の活用による機会提供、情報発信、業務効率化等の継続実施
5. 新宿シティハーフマラソン・区民健康マラソンの着実な実施